

第3回 10月30日（水）学校運営協議会

☆学校運営協議会委員の皆さんに、二学期前半までの活動や、今後の取組について説明し、ご質問、ご意見、ご要望をいただいた。

○相談週間について、担任が一番相談できるとよいと思うが、担任以外でも悩みを打ち明けられるようになるのは大切だと思う。相談週間をきっかけにして、多くの先生方と話せるようになっていくようにしたい。困ったときに見つけてくれる先生を増やしたい。担任以外の先生と話をする機会はあまりないから、機会を作ることでも大事だと思う。

○学校自己評価アンケートでは、家庭環境に関するところで、「家の人に相談しやすいですか」「家の方は、ほめてくれますか」という設問も加え、学校でも家庭でも相談できるか、褒められているかを聞いてはどうか。学校自己評価アンケート結果を地区懇談会の話題に取り上げて、話ができるとよい。授業がわかりやすい、授業が楽しいなど、肯定的にとらえている児童が多く驚いた。先生方が楽しいと感じる授業でないと、子どもたちも楽しいとは思えないと思う。そういう意味で、有意義な授業ができていると思う。やらされているのか、進んでやっているのかで、全く違う。子どもたちが体験を通して学んでほしい。学習に集中するのは「ごしたい」が、学習に夢中になると「楽しい」になるので、子どもたちが夢中になるようにしてあげたい。

○2学期始業式にいじめの話をしたときの子どもたちの反応はどうだったのかについて、校長が返答。もし自分がされたらどんな気持ちになるかについて、「これはいじめだよ」の本を読んだ。夏休み明け初日であったが、子どもたちは真剣に聞き、受け止めていたと感じた。

○いじめ解消については、大人が子どもの手本になれば良い。地域も子育てに取り組まなければいけない。いじめは、いつ、どこでも起こる。それを止められる実践力をつけていかなければいけない。

○学校再編について検討会議がゼロベースになった。学校は茅野市では基本避難所になっている。「災害に強いまちづくり」を茅野市は政策にあげているので、学校を統廃合でなくしてしまうことは難しいのではないかな。

○豊平小学校の規模で、合唱団と金管バンドの2つあることは運営に難しさが無いかな。

○学校だよりで学校の様子を地域の方に知ってもらえてうれしい。ホームページでも見ることができるので、学校だよりにもそのことを掲載してほしい。ホームページのアクセス数をカウントできると、どのくらいの方が見ているかわかってよいのではないかな。

○夏休みに、地区で平日に3時間ずつ公民館を開放し、自由に学習できるようにしている。その際、集まった子たちに災害や防災についてレクチャーした。「“お” “い” “た” ところへ避難する。」“お” …落ちてこない。“い” …移動してこない。“た” …倒れてこない。学校から家までの道で、災害が起きた時に避難できるところがあるか、自分で考えておくことを話した。

○区内では、下校時の子どもたちに「お帰り」と声をかけるようにしている。知らない人にもあいさつをしようと呼びかけている。これは防犯につながる。散歩中に、知らない大人の人から声をかけるのは気まずいと言っている子どもたちがいた。「お帰り」の言葉には、「ただいま」でも「こんにちは」でも「さようなら」でもいいから、あいさつを交わせるといい。ある町では、「小学校1年生です。これから下校をするので、地域の皆さん見守りをお願いします。」という町内放送が流れる。子どもの声は効き目があると思う。このような取り組みをできたらよいのではないか。防犯ブザーの点検をしておきたい。

○先生の働き方改革については、取り組んだ行事の反省を入れ込んで、来年度の計画を作成するようにしている。わからないことを一から考える事はしないようにして働き方改革を進めている。学年だよりの連絡事項などは、先生方がコミュニケーションを取りながら共有することで、効率化を図っている。職員数がコミュニケーションをとりやすい人数なので、よいと思う。

